

4月の活動報告

4月29日（金）こんぶくろ池 春の観察会

橋下谷 弘司

「こんぶくろ池 春の観察会」がゴールデンウィーク初日の4月29日（金）10時から前日の雨も止み晴天のもとに開催されました。

一般参加者36名（子供さん8名を含む）、スタッフ10名の参加があり、講師として柄沢先生と調査班の中庭さんの2グループに分かれ観察が始まりました。

柄沢先生から「森の中に入って自然を感じてもらいたい。」との話がありました。

植物ではマムシグサ、キンラン、ギンラン、ジュウニヒトエ、ホウチャクソウなどが開花しており、特にジュウニヒトエの群落は見事なものでした。

動物では、仔グモを背負うウヅキコモリグモ、芝を食べるヒラタアオイコガネ、ナナフシモドキ、羽化直後のサラサヤンマとその羽化殻など珍しいものを見ることができました。

当日は、大変風が強かったですが、森の中へ入って行くと高木は上の方で揺れていますが、風がほとんどないことを体感しました。

ショウブの葉の匂いを嗅ぎ、ショウブ（尚武）にまつわる話を聞きました。

まさに五感を使っての観察会でした。

参加者からは、「子供が昆虫好きで、触れることもでき楽しかった」「とても勉強になりました。キンラン、ギンランが見られてよかった」などの感想がありました。

「僕は昆虫学者になるのだ」と言う頼もしい子供さんもおられました。

こんぶくろ池自然の森は自然と人の出会い、学習の場として非常に重要であることを再認識させられた半日でした。



キンラン



アカネスミレ



フデリンドウ



ギンラン



ジュウニヒトエ



春の女神（宮尾知子さん作）



シュンラン
(植物の写真は森田さん撮影)